

参加費  
無料

2023  
12.24日  
13:00-16:30

名城大学  
ナゴヤドーム前キャンパス

令和5年度  
名古屋市

# 障害者 スポーツフォーラム

1 トークセッション 14:00~15:30(受付13:00~)

定員  
250名  
※申込先着順

## みんなでスポーツを楽しむために ～スポーツボランティアの力～

東京2020パラリンピック前後のパラスポーツを取り巻く環境の変化、とくにサポート(ボランティア)に関するマインドの変化などについて語り合っただき、2026年に愛知県・名古屋市で開催される第5回アジアパラ競技大会の気運醸成を図り、ボランティアへの興味関心を高める。



出演者

河合 純一

日本パラリンピック  
委員会委員長、  
パラリンピアン 競泳元日本代表



出演者

北澤 豪

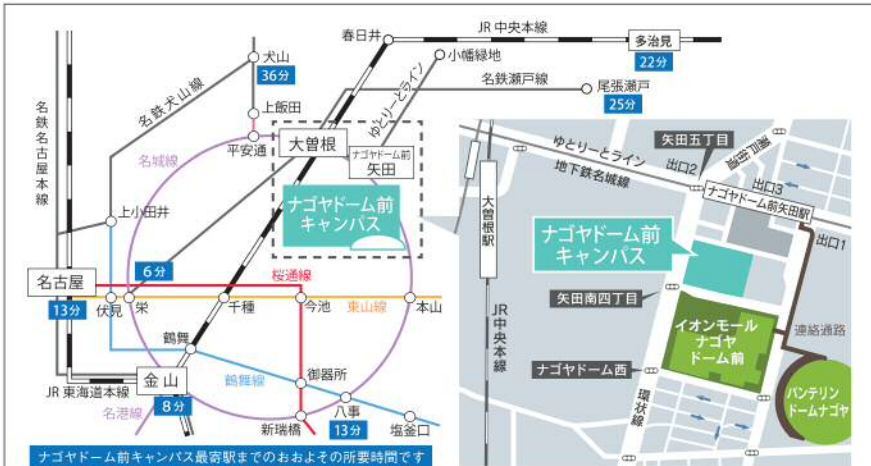
日本障がい者サッカー  
連盟会長、  
サッカー元日本代表



MC

小林 美鈴

ラジオパーソナリティ、タレント



名城大学ナゴヤドーム前キャンパス

南館1階 DSホール及びDS102講義室(名古屋市東区矢田南 4-102-9)

参加方法 Webにて  
事前申し込み  
※トークセッション参加の場合は事前  
申込必須、パラスポ体験会は申込不要



申込期間 2023年11月1日(水)-  
12月17日(日) ※定員に達し次第受付終了

2 パラスポーツ体験会  
第1部 13:00~14:00 第2部 15:30~16:30  
ブラインドフットボール体験

主催/名古屋市、  
社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団  
協力/名古屋市障がい者スポーツ指導者協議会

【お問い合わせ先】  
イオンコンパス株式会社 中部営業所  
TEL:052-526-9530 FAX:052-526-9516(受付時間:9:30~17:00 土日祝休み)

## 出演者

# アジアパラ競技大会

- 国際パラリンピック委員会(IPC)の地域委員会であるアジアパラリンピック委員会(APC)が主催し、4年に1度開催
- アジア地域におけるパラリンピック・ムーブメント<sup>(※)</sup>の推進と競技スポーツのさらなる進展を図るために開催するアジア地域の障害者総合スポーツ大会

### 開催地

- 2010年 ▶ 第1回大会(中国・広州)
- 2014年 ▶ 第2回大会(韓国・仁川)
- 2018年 ▶ 第3回大会(インドネシア・ジャカルタ)
- 2023年 ▶ 第4回大会(中国・杭州)
- 2026年 ▶ 第5回大会(愛知・名古屋)

※パラスポーツによって、「障害のある人に対する人々の意識」、「障害のある人の移動の自由」、「障害のある人への機会の均等」の3つの変革をもたらすための活動

## 第5回アジアパラ競技大会のコンセプト

アジア競技大会と共通のコンセプトとし、アジアパラ競技大会の特性を加える。

### ■アスリートファーストの視点

→パラアスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる舞台を用意

### ■既存施設の活用

→必要なバリアフリー対応も行いながら、既存のスポーツ施設の活用を中心に展開し、開催時及び開催後の経費を低減。

### ■先端技術の駆使

→最新技術を導入し、パラアスリート等に快適で安心・安全な競技・滞在環境を提供

### ■伝統と県民・市民性に触れるおもてなし

→ボランティアと一体になり、地域を挙げて大会を盛り上げ

### ■アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催を誇りに、さらなるスポーツ文化の普及へ貢献

→パラアスリートの競技力向上を支援するとともに、パラスポーツを楽しむ文化を普及



## 河合 純一

1975年  
静岡県浜松市出身

15歳で全盲となる。

1992年パルセロナパラリンピック大会から2012年ロンドンパラリンピック大会まで競泳日本代表として、6大会連続で出場し、金メダル5個を含むパラリンピック日本人最多の通算21個のメダルを獲得し、日本人初のパラリンピック殿堂入りを果たす。

2020年より日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会委員長。

東京2020パラリンピック競技大会日本代表選手団団長、北京2022パラリンピック冬季競技大会日本代表選手団団長を務めた。



## 北澤 豪

1968年  
東京都町田市出身

中学時代は読売サッカークラブ・ジュニアユースに所属。海外へのサッカー留学・日本代表初選出を経て、読売クラブ(現 東京ヴェルディ)で活躍(J1リーグ通算264試合)日本代表としても多数の国際試合で活躍した(日本代表国際Aマッチ 59試合)。2003年現役を引退。

(公財)日本サッカー協会参与 フットサル・ビーチサッカー委員長、(一社)日本障がい者サッカー連盟会長、(一社)日本女子サッカーリーグ理事としてサッカーのさらなる発展・普及に向け活動を行っている。

また、国際協力機構(JICA)サポーター、国連UNHCR協会 国連難民サポーターとして社会貢献活動にも積極的に取り組む。

感染症等の拡大防止のため、体調が良くない(咳、熱がある、喉の痛いなどの風邪症状がある、だるさや息苦しさがある、味覚や嗅覚に異常がある)場合は、参加を見合わせることをご検討ください。